

業務部速報

No. 18

発行 14. 9. 1

JR東労組 業務部

申4号

東北縦貫線「上野東京ライン」開業に関する団体交渉

確認

「施策実施に関する確認メモ」の遵守!!
労使の合意形成と安全を大前提に施策を進めること!!

施策の目的

- ① 東京駅に乗り入れることによる利便性の向上
- ② 平行して運行する京浜東北線と山手線の混雑緩和

交渉で明らかになった点

- ・開業時においては、乗務員区所と車両センターの再編は行わない
- ・担当する運転士の現地訓練は、線見1往復とハンドル訓練4往復
- ・ハンドル訓練は、開業までに担当する全運転士が行い、不安を抱えたまま単独乗務することはない
- ・開業時の乗務員の乗り継ぎ駅は、東京駅が基本
- ・車両配置は、効率的な配置を検討している
- ・運行管理については、東京総合指令室が中心となって、様々なシミュレーションを行っている
- ・営業制度の変更はない
- ・新たな着席サービスを検討する。具体的になり次第お知らせする
- ・列車接近警報機の未設置区間については、設備部と調整する
- ・京浜東北線と山手線の運転本数は、お客さまの動向を見極めて判断する

5支社にまたがる施策であり、本部・本社間で考え方を整理するべきだ！
提案を行い、議論を速やかに開始するべきだ！

職場からのたたかいを基礎にして、
施策に真正面から立ち向かおう!!